

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年3月30日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676100235
法人名	社会福祉法人 豊生会
事業所名	グループホーム 隼人
所在地	鹿児島県霧島市隼人町松永3630番地3 (電話) 0995-64-2520
自己評価作成日	令和2年3月9日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年3月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

GH隼人は今年の8月で18年目を迎えます。温泉の湧き出る一角で自然と緑に囲まれた高台に位置しており、ゆっくり過ごせる静かな場所です。そして2階からは日当山や国分、そして桜島を展望できます。天気がいい日は種子島から打ち上げられるロケットの残影も見ることがあります。周りは住宅街なのでご利用様は散歩を楽しまれたりされご近所の方と挨拶を交わしながら楽しく暮らしております。中庭や駐車場にて餅つきや地域交流会でバーベキュー等を行っております。夕涼み会では学童の子供たちを招いてご利用様方と子供達との触れ合いの場を提供しております。年齢や介護度も高くなってきましたが皆様お元気で、素敵なお笑顔で過ごしております。ご利用様中心の支援を行いながら日々励んでおります。今後もご家族、ご利用様、職員が明るく笑顔、笑い声が溢れるユニット作り、環境づくりに力を入れ「自立、快適、支えあえる」をモットーに個別ケアの提供を行ってまいります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、少し高台の、温泉の湧き出る住宅地域に立地している。法人理念に基づいて、独自の基本方針と行動指針を掲げている。「自立、快適、支えあえる」をモットーにスタッフ全員が「気づきノート」を共有し話し合い、利用者がその人らしい生活ができるように、電子ピアノ演奏、絵画など個々の能力を大切にされた個別ケアで支援している。
- ・自治会に加入し、運動会や夏祭りなど地域行事に積極的に参加する一方、事業所の行事にも多くの家族や地域住民、学童の子供たちの参加もあり、ともどもの交流の場となっている。「まちかど相談所」も掲げ、日常的に地域と交流している。
- ・協力医療機関の定期的往診や職員看護師の健康管理や緊急時の対応に適切な医療が受けられるよう支援している。
- ・代表者や管理者は職員育成に力を入れ、資格取得に向けた支援や有給休暇、育児休暇など福利厚生も整備している。職員間でのコミュニケーションも良く、自らの資質向上に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職員1人1人が利用者様、ご家族、地域の方々と心を繋げ、関係を広げていけるように努めている。	法人の理念を基に、各ユニットに地域密着型サービスの意義を踏まえた独自の理念を掲げている。玄関や事業所内に掲示し、朝の申し送り時に唱和している。ミーティング等で振り返り確認し、実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	四季折々の地域行事などに利用者様を1人でも多く参加して頂けるようにしている。	ライフサポートワーカー間のやり取りで情報を得、運動会や夏祭りなど地域行事に参加している。事業所行事のクリスマス会や夏祭り・地域交流会・敬老会等にも多くの地域の方の参加や学童保育児との交流もある。初午祭も披露してくれる。「まちかど相談所」も掲げている。避難訓練の炊き出しにも地域住民の参加がある。野菜の差し入れもある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	ライフサポートワーカーが在籍してるまちかど相談所として、だれでも気軽に来苑できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>奇数月に会議を行い、会議で出た意見を職員とその都度共有し、活かすように話し合いをしている。</p>	<p>会議は定期的開催している。事業所の状況やヒヤリハット・外部評価結果報告などを行い、委員からも多くの助言や提案がある。事故による表皮の剥離についての質問等、詳細に説明を行い、対応策も示した。意見をサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>入居者様に変化があったとき、福祉課など連絡し対応している。</p>	<p>市担当者とは、窓口に出向いたり、電話で事業所の実情や取り組みを伝え連携を深めている。運営推進会議を通して協力関係もできている。市福祉課の担当とも連絡している。市主催の研修会やグループホーム協議会の研修会にも参加し情報を得ている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>毎月、事業所独自で勉強会やミーティングを開催し、それを通して学び常に自由で安心して過ごして頂ける環境を全員で話し合い取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束ゼロ委員会で3ヶ月毎に研修会を開催し、適正委員会を年4回実施している。全体ミーティング等でも勉強会を行い、対象となる事例検討などで職員の共通認識を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉による拘束など、日々確認している。昼間玄関の施錠はせず、職員間の連携で外出希望者には職員が付き添って対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待の芽チェックリストを活用し、日頃の生活の中でお互いに言葉遣いや介護に対するの自覚を持ち、思いやりのある介護に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>アンケートや、行政からの指導内容、ニュース等を取り入れ、反省、注意等の学習をしている</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>担当者（管理者・ユニットリーダー）が説明し利用者・家族の意向も聞き、納得していただき契約をして頂く。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日常の共同生活の中での利用者様の言葉や声に傾聴し責任者又、ご家族の方への報告を行いお互い不安のない生活をして頂けるよう努めている。</p>	<p>利用者からは日々の関わりの中で表情や態度からや会話の中から思いを把握している。家族からは面会や家族会・地域交流会・電話・運営推進会議参加時・アンケート等で意見を聞いている。外出の希望があり、意見等を職員で話し合い、運営に反映している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>人事考課も必要ではありますが、就業の実態をグループホームに出向いて話し合いも必要でその都度、対応し管理者の方で改善している。</p>	<p>管理者は朝の申し送りやミーティング、月1回の全体ミーティング等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。相談事は適切にアドバイスをしている。資格取得の際の支援や有給休暇・育児休暇など福利厚生が整備されている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>アンケートや、個々の面談により、管理者が指導している</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月のグループホームでの勉強会や研修への参加が必ずあり、特に事例を挙げての勉強会は、考えさせられる意味のあるものです。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>霧島市地域密着型連合会役員として外部研修に積極的に参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	家族からの情報を得る。又、ご本人との会話で状況を確認して、対応している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の不安をお尋ねし、ご家族と職員が一体となり1つずつ段階を踏む。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族の話聞き、ご本人に対しての対応を職員同士やご家族とも話し合う。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個々のレクリエーションや入浴など、お互いに声掛け合い自立を見守りながらできること、出来ないことを分かち合って生活しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族へ現状を報告しご家族と共に話し合いながら介護を行う。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族にお尋ねし情報を聞き、時にはドライブなどを利用して、地域に出向かう。	馴染みの人や場所を把握し、ドライブなどで自宅近くに出かけている。家族や友人・知人の訪問の際には、お茶を一緒に飲んだり、電話や手紙の取次ぎなど行って、継続的關係が途切れないよう働きかけている。家族の協力で外出や外食・墓参などの際にも支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員同士、分担しそれぞれ入所に孤立しないように対応している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	元入居者様家族と出会った時、声かけている。また、在宅復帰された利用者様についても、担当ケアマネ、家族と連絡や情報交換を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常の状況においては、買い物と一緒にいっている。お墓詣り等、希望があればその都度対応しています。	入居時のアセスメントを参考に、入浴や夜勤など日々の関わりの中で、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。電子ピアノ演奏や生け花、希望で墓参などの支援をしている。困難な場合は、利用者の視点に立って本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様との会話やご家族と話した内容の中でご本人の趣味や職業、今までの生活歴を通じて今の生活を共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その日の健康状態や気分などを把握して、洗濯物や片付けや野菜切などを、手伝っていただく。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のミーティング、毎日の申し送り意見を出し合って、共有、反映している。	本人・家族の意向を確認し、主治医の意見や職員のアセスメントをもとに担当者会議で話し合い、個々に応じた介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに沿った実践を行いながらスタッフ間の情報交換を密に行い個々の入居者様の状況の応じたケアに修正したり調整してその人が安心して生活できるようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族や本人の希望要望を聞きながらなるべくかなえられるように計画を立てて本人に無理のないように実施していく		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	散髪は地域の美容室から、来ていただき、交流を図る。(偶数月)		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2回/月の主治医との連携をはかり、症状悪化時、医師へ報告し指示を仰ぎ病院受診、又は専門医受診する。状況をご家族へ報告する。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力医療機関による月2回の訪問診療や必要に応じての歯科訪問診療もしている。他科受診は情報を提供して家族の協力を得て支援している。職員看護師の健康管理との連携も図り、緊急時の対応など適切な医療を受けられるよう支援している。受診結果は家族と共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>夜勤者からの情報収集、日勤者からの状況報告を共有し注意点や異常の早期発見に努める。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時、出来るだけ毎日洗濯物を取りに行く。面会・届けに行った際には、入居者様と会話する。地域連携室とのカンファレンスで解決、退院後の生活が安定できるようにする。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居説明の際は、重度化や終末期に向けた指針を家族に説明、アンケートを取り、その旨、主治医へ伝え家族と話し合う。又、家族の気持ちの変化にも、対応できるよう、看取りについても、定期的に聞き取りを行う。</p>	<p>契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し、「事前意思確認書」として看取りに関する同意も得ている。状況変化に伴い主治医の説明もある。本人や家族の意向を随時確認し、家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。看取りの事例もある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>1回/年の法人での救命処置訓練実施。緊急時の対応を常に話しあっている。心肺蘇生法・AEDについても全職員が協力し対応できる体制を作っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>日勤、夜間帯を想定した、火災・災害・避難訓練や緊急に備えての連絡網の活用も行っている。</p>	<p>消防署立会いのもと年1回、自主で年1回昼夜想定での避難訓練を実施している。スプリンクラーや緊急通報装置、避難用滑り台も設置し、定期的に設備等の点検も行っている。炊き出し訓練には地域住民や家族の協力も得られている。無線放送で地域に情報が流れる。水・米・非常用菓子・パン・缶詰等があり、懐中電灯・介護用品・救急セットなどの備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員との会話の中で利用者様に選択肢、決定をお願いしている。言葉遣いは、職員同士で注意して人格の尊重に努めている。	権利擁護や接遇等の勉強会を実施し、職員の資質向上に取り組んでいる。入室や入浴介助・トイレ誘導などでは羞恥心に対する配慮を行っている。日頃から誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の会話の中で、ご本人の希望や行動を職員みんなで共有できるように心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	季節感を楽しんで頂けるような過ごし方を重視しご本人の希望に添えるように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご家族との、外出や入浴後の身だしなみ等の支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食べる事に、楽しみをもって頂けるよう食事やおやつなどの希望を取り入れている。	差し入れの野菜や旬の食材で、利用者の嗜好に配慮し、食事形態を工夫した献立である。ホットケーキ・たこ焼き・お好み焼き等、職員と一緒にやっている。誕生会や季節の行事食・ソーメン流し・外食等、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人にあった、食事形態・飲み物は通りの良いゼリーなどを利用している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアを行う。うがいができない方は、口腔ケアウティティー、ジェルを使用している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	長時間トイレに行かれない方に、声掛けをしている。入浴のない時には、清拭、洗浄している。	排泄のリズムを把握し、必要に応じての声かけを行い、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。表情やしぐさで誘導を継続し、トイレに行く感覚が出て、パットの大きさが小に改善できた事例がある。牛乳・焼きいも等、便秘予防に取り入れている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	冷たい牛乳、芋、水分を多めに、飲んで頂く。それでも困難な時には医師に相談する。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>入浴の声掛けした時、断られたときには、時間をずらしたり翌日に入浴していただく。</p>	<p>入浴は温泉である。基本的には隔日であるが、個々人の体調や希望にそって柔軟に対応している。機械浴やストレッチャーの設備もあり、ゆっくりと入浴を楽しめるように支援している。足浴や清拭で清潔保持にも対応している。入浴を拒む利用者には声かけや時間調整など職員間で連携して、状況改善に努めている。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>体調に応じて、自室で休んで頂き、日中（お茶時）時間を見てリビングへ出て頂く。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>利用者様、職員2名と確認を行う。副作用の症状が出た場合、すぐに主治医へ相談する。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>日々の雑談・レクリエーション・散歩等を行っている。誕生日・行事等にはプレゼントを行っている。（母の日・父の日・クリスマス）</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>職員を確保し、天気の良い日には、ドライブ、初詣、畑（散歩）に出向いている。</p>	<p>日常的には周辺の散歩や外気浴・買い物に出かけている。計画を作成し、初詣・季節の花見・ソーメン流し・地域の行事・足湯・個別にドライブ等に出かけている。家族の協力で外出・外食・墓参等にも出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族の了解を得ながら夏祭りの際の出店で好きなものを買ったり、自動販売機で好きな飲み物を買ってもらう。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族、ご本人の希望によっては、本人所持の形態や事業所の電話を使用して連絡していただく。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>花（季節の物）等を生ける。又、季節の花の塗り絵を貼る。気候に応じて換気を行う。</p>	<p>共用の空間は広々として、採光や換気・温度・湿度に配慮し清潔である。壁には利用者の作品や行事の写真・花等、季節感を大事に飾りがある。昼のコーナーもあり、窓からの風景を楽しむながら居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>会話をしたり畳の所で日向ぼっこしていただいたり、レクレーションに参加する。時には、席替え等気分転換をしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>室内で安心して過ごせるように家族写真等貼る。塗り絵された物や行事写真・季節のカレンダーを貼る。</p>	<p>居室はエアコン・ベッド・タンスが備え付けである。テレビ・ラジオ・時計・電子ピアノ・テーブル・椅子・仏壇・遺影・家族の写真・カレンダー・ぬいぐるみ・ポータブルトイレ等、持ち込み安心して過ごせるよう配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>車イスの方や、歩行できる方に安全に生活できるように努めている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない